

ツアー記録 熊野古道 中辺路全線踏破 6 日間

2016 年 11 月 24 日(木)～11 月 29 日(火)

11 月 24 日(木) 新千歳⇨羽田⇨南紀白浜=滝尻王子…熊野高原神社 歩行約 2 時間

新千歳空港から 9 名様と添乗員で出発。羽田空港で 1 名様と合流しました。天候を心配していましたが、新千歳空港は快晴。札幌より北の地域では吹雪いていたそうです。

6 分遅れで羽田に到着。この日の東京は、史上初！11 月の積雪！ということでニュースが賑わっていました。案の定、飛行機は 30 分遅れでした。

南紀白浜空港到着！北海道から来た私達にとっては、時間を巻き戻した気分。11 月の和歌山はまだまだ秋！といった感じでした。そしていよいよ滝尻王子から熊野詣スタートです。歩き始めはゆったり・・・とはいかず、初めから登りが始まります。胎内くぐりや乳岩、不寝王子を過ぎ辿りついたのが「飯盛山展望台」栗栖川を見渡すことのできるビューポイントです。登りを終えた皆さんの足取りは軽く、途中のアケビによく似た「ムベ」の実に気を取られながらも、予定通り 16 時 30 分には熊野高原神社に到着しました。本日の宿「きけうや」では夕食のおかずの量にびっくり。これで明日はしっかり歩けそうですね。



滝尻王子にて



展望台から



秋を感じるすすき

11 月 25 日(金) 熊野高原神社…小広王子 歩行約 7 時間 30 分

高原より 2 日目スタート。霧の里と言われていることもあり、スタート地点からの眺めは素晴らしかったです。民家のそばを抜け 10 分程登ると杉林に変わります。1 時間もかからず大門王子へ。次の十丈王子で一休みです。まだまだ杉の道は続きます。語り部さんからサカキやシキミなど植物のお話や歴史について聞きながら進み、小判地蔵や力が強く、頓智に長けていたといわれる悪四郎屋敷跡、上多和茶屋跡、大坂本王子を越えると熊野古道中辺路の道の駅がありました。ここには私の身長程の大きさの牛馬童子像のレプリカがあります。というわけで本物を見るために歩を進めます。ドキドキしながら辿り着いた牛馬童子像はなんと膝程の高さでかわいらしいものでした。そんなこんなで林を下っていくと近露の長閑な風景に変わります。近露王子にてお昼休憩です。

エネルギー補給を済ませ、歩き始めます。全校生徒が 20 人に満たない小学校。私も昔を思い出します。お話をしながら進むと、北海道では見ることの出来ないサルに出会い、キウイが栽培されていることに驚き、気付けば継櫻王子に到着です。大樹がたくさんあり、8 人は入れるという樹洞

をもつものもありました。継櫻王子の先には秀衡が接ぎ木をしたという秀衡桜がありました。三代目、四代目と桜も歳を重ねているようです。後半は下りが多かったこともあり、15時頃には小広王子に到着しました。今日の古道歩きは終了です。お客様でまぶたを虫に刺されてしまった方がいらっしやいました。この時期でもまだ虫がいるなんて…冷やすことでなんとか腫れが引いたようで安心しました。

本日の宿は「のなか山荘」。暖房がきいており暖かく、キレイな宿でした。私は部屋数の関係で離れに宿泊。雰囲気がとてもよく是非皆さんに泊まって頂きたかったです。暖かい時期に笑



高原の朝



杉林の中を進みます



秀衡桜

11月26日(土) 小広王子…熊野本宮大社=湯の峰温泉 歩行約8時間

小広王子より3日目スタート。仲人茶屋跡の先の道は5年前の台風の影響で崩れており、迂回路を行きます。約250Mの登りはなかなかきついです。土曜日ということもあり、今日はよく人とすれ違いました。外国人も多く、オーストラリアからきたという女性三人組もいました。迂回路が終わるとあったのが蛇形地蔵。蛇の鱗のような模様の岩と地蔵があります。そのすぐ先には湯川王子。ここから三越峠へつづら折れの坂を登って行きました。登り終わると三越峠関所が設置されています。当時はこんなところに関所があったなんて、取り締まる人も大変ですね。ここから1時間ほど下ると音無川沿いの道に出ます。落ち葉の道をしばらく進み船玉神社手前の広場にてお昼休憩です。

お昼を食べ終え、歩き始めるとすぐに船玉神社があります。そしてさらに歩を進めると、この先続くルートを開拓した地元役場の元課長の愛称がついた「たっくん坂」が見えます。この急坂の先で道路にぶつかり、そこには発心門王子がありました。他とは格式を異とするとされている五体王子の一つである発心門王子は、かつて大鳥居があり本宮聖域の入口とされていたそうです。ここにはバス停があり、乗って行っちゃおうかな?なんて冗談を言いながらも歩を進めます。伏拝王子のそばに会った茶屋で休憩。温泉コーヒーやしそジュースなどで一息つき、再スタート!途中の無人販売所に心を奪われつつも本宮を目指します。そして、祓殿王子を過ぎるともう熊野本宮大社です。お詣り・写真撮影・買い物を済ませ、今日の宿泊地である湯の峰温泉へ。宿泊する民宿あづまや荘と旅館あづまや、有料ですがつぼ湯や薬湯なども入ることができ、疲れを癒すことができます。夕食もまた豪華でアユの塩焼きに刺身にお肉、野菜もたくさん。お腹いっぱいです。明日は天気の良いので、早めにスタートしましょう。



発心門王子



紅葉と茶畑が美しい道



熊野本宮大社御神門

11月27日(日) 請川…小和瀬の渡し場跡 (小雲取) 歩行約4時間

請川より4日目スタート。スタート時点ではまだ雨が降っていませんでした。予報では8時頃から1,2ミリの雨。はじめは民家の間を通ります。霧がかかり幻想的な杉林の道を進むと予報通り8時から雨が降り出しました。林の中ということもあり、それほど降っているとは感じませんでした。1時間半ほどで熊野本宮を包む三千六百峰を望める百間ぐらに到着しましたが、霧のため真っ白。残念ですが、熊野は雨の多い地域。先へと歩を進めます。だんだんと雨が強くなる中、賽の河原地蔵や石堂茶屋跡を通過します。途中、雨の中をジーパンに半袖で歩く外国人グループには驚きましたね。緩やかなアップダウンを越え、桜峠に到着。あとは下るだけなのですが、雨により下りの石段が滑るので大変でした。そしてなんとか雨の中、小和瀬の渡し場跡へ。小口まで行く予定でしたが、今日はここで終了。全然1,2ミリの雨ではなかったですね。

13時頃には宿に到着。べちょべちょになった雨具等を乾かし、今日は温泉にてゆったりまったり。明日の大雲取のためにもゆっくり休みましょう。



霧に包まれる古道



百間ぐら



湯の峰温泉

11月28日(月) 小和瀬の渡し場跡 (大雲取) 歩行約7時間30分

小和瀬の渡し場跡より5日目スタート。雨が上がり太陽も顔を出し、古道歩き日和です。最後のコースは最難関、大雲取を歩きます。小口自然の家から30分程で熊野の神々が談笑していたという円座石があります。そこからは地獄の胴切坂の始まりです。登れど登れど、石段が続きます。杉の中、苔むした岩の道はまさに熊野古道！ひたすらに登ります。だんだんと最高地点である越前峠が近づき明るい光が見えてくると、あそこは天国だ！と聞こえてきました笑 まだまだ天国に行くのは早いですよ！と一歩ずつ登ります。やっと辿りついた越前峠。まだまだ続くのですが、歩き終えたかのような達成感がありました。アップダウンを繰り返し、石倉峠を過ぎると地蔵茶屋跡に出ます。今日はここでお昼休憩です。太陽が隠れてしまったため、じっとしていると寒くなってきました。お昼を終え、再度スタート。急ではないものの、緩やかに登って行きます。1時間ほどで色川辻です。さらに登ると色川の集落と山々が一望できる好ポイントがありました。清々しく、ゆっくりコーヒーを飲みたくなるような場所でした。そこから数分で舟見峠・舟見茶屋跡の展望台があり、新宮の街と太平洋を眺めることが出来ました。ここまでくると、もうあと一息。緩やかな下りを進み、1時間ほどで今回の最終目的地である熊野那智大社に到着しました。歩き切った達成感と皆さん何事もなく来られたことへの安心感。本当に良かったです。青岸渡寺・熊野那智大社・飛瀧神社を参拝し、フリータイムとしました。

今回の旅最後の宿は、部屋から那智の滝が見える美滝山荘。三日目から毎日すれ違っていたオーストラリア人のグループも一緒でした。今回のツアーについてこれからのことについてお話ししながら、このツアー最後の夕食を美味しく頂きました。



どこまでも続くような扇切坂



熊野那智大社



三重塔と那智の滝

11月29日(火) 美滝山荘＝熊野速玉大社＝南紀白浜＝羽田＝新千歳

朝食ではご利益たっぷりであろう那智の滝の水を飲み、熊野速玉大社へ出発です。30分程で到着。朝ということもありほぼ貸切状態です。お詣りや写真撮影を済ませ、フリータイム。この時間からお土産屋さんが開いているんですね。飛行機の時間もあり、神倉神社には寄ることが出来ませんでした。次回は行くことが出来るよう調整したいですね。

飛行機はほぼ定刻で出発。天候が良く、飛行機の窓から富士山を眺めることが出来ました。羽田で乗り換え、無事に北海道に戻ってきました。数時間前までは15℃程あったのに、こちらは氷点下です。道路はツルツル、札幌の大通はクリスマスモードでした。

皆様、お疲れ様でした。

「熊野古道 中辺路全線踏破6日間」に参加された皆様、誠に有り難うございました。こちらをご覧になって少しでもご興味が湧いたという方のご参加もお待ちしております。



熊野本宮大社 表道



飛瀧神社 那智の滝



熊野速玉大社 神門内



世界遺産 石碑